

報道関係者各位
(参考資料)

2021年5月10日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、SOC サービスの監視対象に SASE プラットフォーム「Prisma® Access」を追加

-- IIJ C-SOC サービスにクラウドログ連携モジュール機能を追加し
他社クラウドサービスとの連携、監視を実現 --

当社は、セキュリティオペレーションセンター(SOC)でお客様システムのセキュリティログを監視しインシデント対応を行う「IIJ C-SOC サービス」の機能を拡張し、米国 Palo Alto Networks®社のクラウド型ネットワークセキュリティプラットフォーム「Prisma® Access (プリズマアクセス)」を本日より監視対象に追加いたします。これにより、お客様は自社ネットワークに追加機器を設置することなく、Prisma Access の監視が可能になることに加え、IIJ C-SOC サービスで Prisma Access のログを収集・分析することで、より豊富な情報をもとにインシデント対応を行うことができます。

IIJ C-SOC サービスは、24 時間 365 日、ファイアウォールなどのセキュリティ機器からセキュリティログを収集・分析し、そこで検知したセキュリティインシデントへの対応を行うサービスです。これまで監視対象は、IIJ のセキュリティサービスおよびお客様が運用しているセキュリティ機器に限られていましたが、このたび、他社クラウドサービスとの連携、監視を実現する「クラウドログ連携モジュール」機能を新たに実装することで、Prisma Access の監視が可能になりました。

Prisma Access は、SASE(※)環境に必要となる次世代ファイアウォールを含むネットワーク・セキュリティ機能をクラウドサービスとして提供するセキュリティプラットフォームです。企業のテレワークがニューノーマルとして定着するなかで、どこからでもどんなデバイスでもクラウドサービスや社内情報リソースに安全にアクセスできる SASE 環境の構築が求められ、急速に導入が進んでいます。今回 IIJ C-SOC サービスの監視対象を拡充し Prisma Access に対応することで、お客様環境の通信に潜在するセキュリティインシデントの早期発見および対策支援が可能になりました。

今後も IIJ C-SOC サービスでは、クラウドログ連携モジュール機能の監視対象のラインアップとして他社クラウドサービスを追加していく予定です。

(※)SASE(Secure Access Service Edge):米 Gartner 社が提唱した、あらゆる環境のユーザ/デバイスが、クラウドサービスやデータに安全にアクセスできるように、本社やデータセンターに通信を集約する従来の方法から、クラウドサービスへの経路上でネットワーク制御とセキュリティ統制を行う方法へとシフトするという考え方。

- 対応サービス

IIJ C-SOC サービス アドバンスド

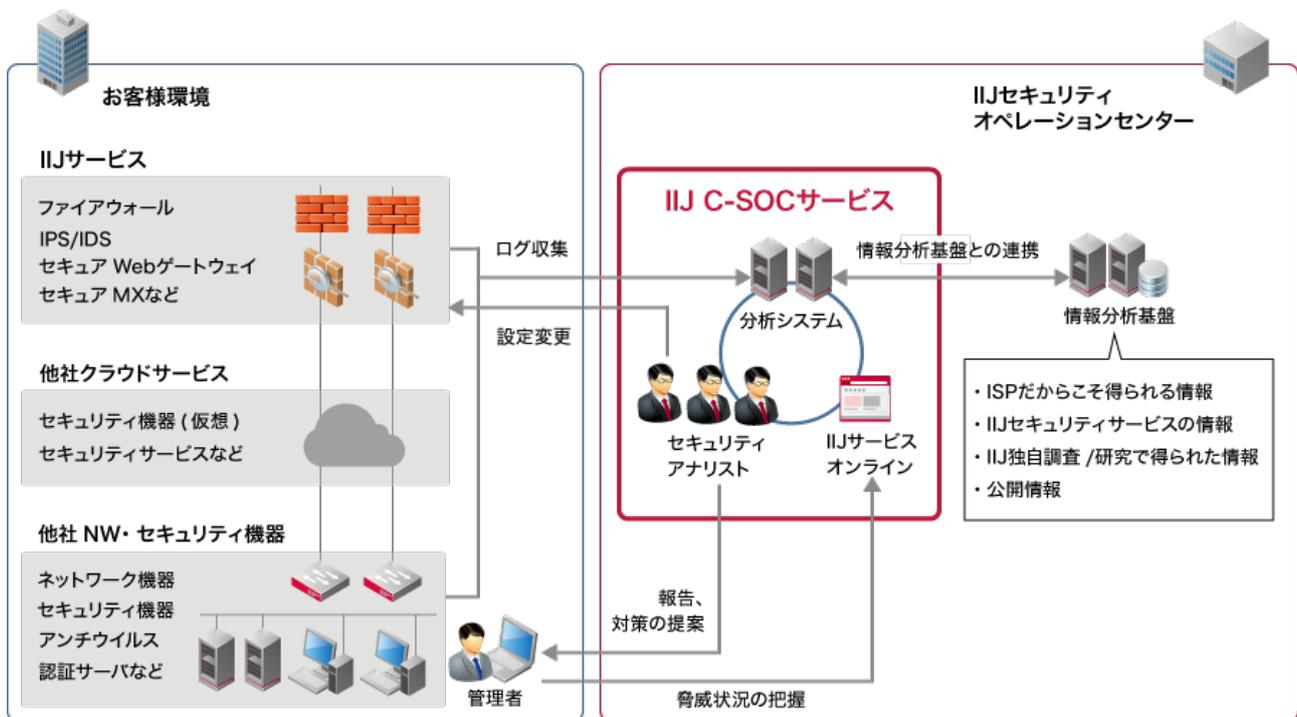
- 対応時間

24 時間 365 日(電話、メール、サービスオンラインにて受付)

- 主なサービス内容

セキュリティログ分析/セキュリティインシデント通知/セキュリティインシデント対応/月次報告

- 利用料金
 初期費用： 2,000,000 円(税抜)～
 月額費用： 700,000 円(税抜)～
- サービスイメージ



➤ 詳細は <https://www.ij.ad.jp/biz/c-soc/menu.html> をご覧ください。

IJ は今後も、「安全をあたりまえに」をコンセプトとするセキュリティ事業ブランド「wizSafe (ウィズセーフ)」のもと、お客様が脅威を意識せず、インターネットを安全に利用できる社会の実現を目指してまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井
 TEL: 03-5205-6310 FAX: 03-5205-6377
 E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>

※Palo Alto Networks、Prisma および Palo Alto Networks のロゴは、米国およびその他の国における Palo Alto Networks の登録商標です。本リリースに記述されているその他すべての商標、商号、サービスマークは、各所有者に帰属します。